

グラウンド・ゴルフ

特徴

昭和57年鳥取県泊村教育委員会が中心となって考案された、グラウンドを利用したゴルフ型のゲームです。

専用のクラブ・ボールを用いて、ゴルフのようにボールを打ち、ホールポストにボールを入れるまでの打数を競い合うスポーツで、場所によって距離やポスト数を自由に設定できるほか、ルールも簡単なためだけでも手軽に楽しむことができます。

また、ホールインワンもあり、その際にはホールの合計打数から3打マイナスするなどの特典が設けられているなど、プレイヤーの励みや意欲を高める工夫がなされています。

最近では、各地域で常設コースも設定されているなど、競技人口も拡大しつつあります。

コートのおおきさや使用する道具

コース：8ホールを1ラウンドとする。

運動場・芝生広場・河川敷など

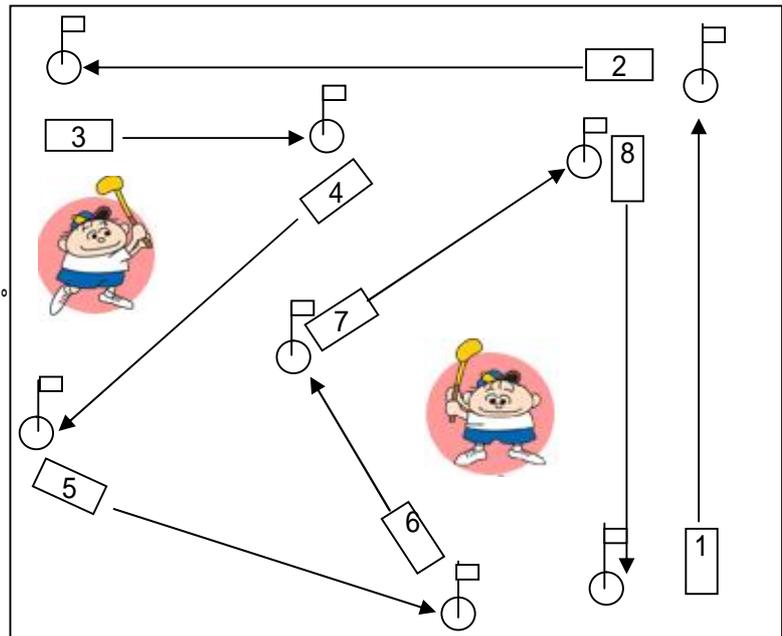
自由にコース設定が可能。

標準コース 8コース

50m×2 30m×2

20m×2 15m×2

人数制限：人数制限はないが、基本的に1グループ6人以内でプレーする。



ルール・競技規則など

プレーは、所定のボールを決められた打順に従って、スタートマットから打ち始め、ゴールポスト内に静止した状態「トマリ」までの打数を数えるものである。

用具は、定められたものを使用しなければならない。

コースは、基本的にはそれぞれの場所に応じて設定するが、標準的なコース設定は、50m、30m、25m、15mを各2ホール設定し、計8ホールを1ラウンドとする。

ゲーム中の判定は、基本的にはプレイヤー自身が行う。ただし、判定が困難な場合は、同伴プレイヤーの確認・同意を求める。

打ち出されたボールは、基本的にはあるがままでプレーしなければならない。自己のボールとして確認できない場合や、他のプレイヤーの障害になる場合のみボールに触れることができるが、それ以外でボールに触れたり、障害となる草や木を切ったりしてはならない。

コース内において、プレイヤーがボールを打つ際に、妨げとなるボールがある場合は、一時的に取り除くことができる。ただし、その際はマークをして取り除くこととする。

また、打ったボールが他のプレイヤーのボールに当たった場合は、当たった方のボールはそのままプレーし、当てられた方のボールは、元の位置に戻してプレーする。

第1打が直接ホールポストにとまった場合(ホールインワン)は、合計打数から1回につき3打差し引いて計算する。

詳しい内容を知りたい場合

公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会 ホームページ：<http://www.groundgolf.or.jp/>